

協会ニュース

令和7年10月30日

中国地区品質経営協会

広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)

TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845

e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和7年度 第2回シンポジウム「モノづくりマネジメント 技術革新」

- ◆ 開催日時：令和7年10月27日(月) 13:00～16:40
- ◆ 場所：広島商工会議所ビル1階101会議室 および Zoomによるweb配信方式
- ◆ 参加者：38企業・団体 248名

令和7年度 第2回目のシンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」は、『会社経営とブランド展開/製品不良率の改善』をテーマとし、講師、パネリスト総勢6名をお招きして、当協会会員である日本規格協会様のご協力により、会場及びWeb配信で開催しました。

顧客の要求や社会ニーズに応えるためには技術力の蓄積とそれによるブレイクスルーが必要であり、愚直な技術の伝承と創造性のある技術革新やアイデアが求められます。

講演第一部では、三島食品株式会社の三島 豊 氏より「働く人が面白いと思えるような楽しい会社づくりに向けて」と題して、良い商品作りのためには社員の能力向上が不可欠との考え方から、本業であるA面活動に加え、趣味や特技を活かしたB面活動を推進することなどによる、変化に対応できる柔軟な会社づくりに関してご講演いただきました。

講演第二部では、株式会社デンソーカー九州の野坂 倫保 氏、山根 宏太 氏、大塚 裕介 氏より「製造DX DN7を活用した100%良品に向けた挑戦」と題して、インジェクターの製造において、高精度の製品故に検査不良も多かった中、DN7という解析手法のツールを駆使することで不良率が大きく改善された実例についてご紹介いただきました。

三島食品様は、B面活動を通じて企業風土改革に取り組まれ新たなチャレンジを続けられており、デンソーカー九州様は、DN7を用いて100%良品に向けたチャレンジを続ける取組について、たいへん興味深く参考になる講演でした。

ご講演後は、当協会 児玉 照三副運営委員長をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われ、事前に会員企業・団体様から寄せられた多くの質問を基に、ディスカッションしました。その中では、実際の取り組みのこだわりや、具体的な事例に対する質問など、シンポジウムに参加された方のテーマに対する高い関心度が伝わるものとなりました。

シンポジウムの開催終了後に皆様より頂いたアンケートでは、「B面活動が参考になった」「楽しく仕事をすることが大事」「早くDN7を使ってみたいと思います」「実際に効果が得られている状況を事例で共有いただき大変参考になった」などの感想が寄せられました。

また、参加動機に8割以上の方が「講演テーマ」を理由にあげられ、シンポジウムに対する満足度も91.8%と高いことから、ご参加いただきました皆様にとって、非常に有意義なシンポジウムになったものと思います。



三島食品株式会社
三島 豊氏



株式会社デンソーカー九州
野坂 倫保 氏



株式会社デンソーカー九州
山根 宏太 氏



株式会社デンソーカー九州
大塚 裕介 氏



パネルディスカッションの様子